

令和7年度 大阪市立新東淀中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立新東淀中学校

校 園 長 名 京田 哲次

日 時	令和8年2月27日(金) 18:45~19:35 (50分)	
場 所	大阪市立新東淀中学校 南館3階 第1多目的室	
出席者	委員等	会長1名・委員7名
	学校園	2名(校長・教頭)
	区役所	1名(区役所担当者)
議題	(1) 学校の現状 (2) 令和7年度「運営に関する計画」年度末評価 (3) 全国体力・運動能力運動習慣等調査および学校生活アンケート (4) 元気アップ地域本部事業 (5) その他質疑応答	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○学校行事等の現状報告と生活指導面を学校より現状報告を行い、理解を得た。	○学校現状は落ち着いている。特に3学期の夢授業(大阪プロレス)について、今後も継続検討することや3年生の進路(私立・公立)の現状と校内侵入事案について東淀川署との連携のもと被害届を提出していることを共有した。
	(2) ○本校の教育や運営に関する計画について、取組内容の報告を行い、理解を得た。	安全・安心な教育の推進のうち、不登校についての在籍比率が昨年度に引き続き減少したこと、年度当初の目標には届かないものの、安全・安心に関する7つの目標のすべてで前期を上回っていること。また、長時間労働の教員の割合は、昨年11月に行われた「50周年記念事業」の影響から高くなっていることもあり、今後も働き方改革を進行していくことで共有された。
	(3) ○全国体力・運動能力運動習慣等調査および学校生活アンケートの報告を行い、理解を得た。	○男女とも9項目のうち6項目で全国平均よりも高い種目があり、昼休みのグラウンドでの活動状況等で運動が好きな傾向が続いている。しかし、学校生活アンケートから「いじめは、どんなこと理由があってもいけないことだと思う」の項目について、最も肯定的な割合が80%に及ばない部分で、今後も継続した取り組みが必要であるとの共通認識が得られた。
	(4) ○元気アップの取り組み状況	○年に2回の英検の取組と1回の漢検の取組を通して、自主的に学習する力が身につけている。放課後の学習スペースとしての自主学習ルームの継続が共有された。
	(5) ○その他	○学校の「弱い部分(教師力の弱さ)」をもっと共有し、地域として協力できることや地域での生徒の生活状況、他中との繋がり等、生徒の負の側面を連携、協力し合える話し合いが今後も必要であることが共有された。

協議 資料	・令和7年度「運営に関する計画」(年度末評価) ・全国体力、運動能力運動習慣等調査および学校生活アンケート
備考	傍聴者[0]名